

PRP 療法（多血小板血漿療法）

PRP とは？

PRP（Platelet-Rich Plasma）とは多血小板血漿とも呼ばれており、**血小板**が多量に含まれている血漿のことを意味しています。

血液成分の一つである血小板には、組織の修復を促す成長因子を出す働きがあります。この血小板を加工し高濃度に凝縮させたものが PRP（多血小板血漿）であり、PRP には細胞の成長を促進し傷んだ組織を治そうとする力があります。

自己治癒能力を高める PRP 療法

PRP 療法では、患者さん自身の血液から血小板を抽出して PRP を作製し、それを痛みや炎症のある部位に注射することで自己治癒能力を高める**再生医療**です。患者さん自身の血液を用いるため、アレルギーなどの副作用が少ないことも特徴です。

対象

【重要】PRP 療法を受けることができない方

- ・抗凝固剤を使用している方
- ・血小板減少症など出血性素因のある方
- ・貧血の方
- ・重篤な感染症のある方
- ・感染しやすい持病のある方（糖尿病・免疫不全・慢性腎不全・肝硬変）

1. 変形性膝関節症

膝の変形が進むにつれて半月板や軟骨が傷んだり、関節に水がたまったりします。米田病院では、運動療法を中心としたリハビリや、薬処方、関節注射などの保存療法から、人工膝関節置換術や骨切り術などの手術療法までいろいろな治療を提供しています。PRP 療法も変形性膝関節症治療法の選択肢の一つであり、変形が進行する前の比較的初期の場合、PRP 療法を行うことで軟骨のすり減りによる変形の進行を遅らせたり、炎症や痛みを緩和したりするなどの症状が改善することがわかっています。

2. その他 慢性的な痛みや炎症

使いすぎなどによる慢性痛や炎症を緩和したり、ケガをした部位の治癒能力を高めて治療にかかる期間を短縮するなどの効果が期待できます。

- 関節内への注射：関節内の軟骨損傷、半月板損傷、関節内の靭帯損傷
- 関節外への注射：筋肉・腱・関節外の靭帯・筋膜の損傷及び慢性炎症
（肩腱板損傷、テニス肘、野球肘（肘内側側副靭帯損傷）、肉離れ など）

治療の流れ



【STEP1】 診察予約

まずはお電話で診察予約をしてください。

【STEP2】 受診 (問診など)

現在の症状などを確認し、PRP 療法の適応があるかどうかを判断します。
適応の場合、実施する日程を決定します。

【STEP3】 PRP 療法実施 (採血 → PRP 作製 → 注射)

- ① 採血：患者さんの腕から血液を 15mL 採取します。
- ② PRP 作製：採取した血液を遠心分離し、PRP を作製します。(15 分程度)
- ③ 注射：患部に PRP を注入します。
(投与量のめやす：膝関節 :4ml、肩関節 :2ml、肘関節 :2ml)

【STEP4】 経過診察

症状の経過や PRP 療法の効果を確認します。

治療後の注意点

- 注射後 3～4 日の間は、細胞の活発な代謝が行われますので、腫れやかゆみ、赤みや痛みが出るなどがありますが、自然に消失していきます。
- 痛みを強く感じている間に安静にし過ぎてしまうと、治療部位が硬くなり長期的な痛みの元になる可能性がありますので、指示されたりハビリテーションを行うことが大切です。
- 投与後～数日間は、血流の良くなる活動（長時間の入浴、サウナ、運動、飲酒 など）を行うことで痛みが強くなる場合があります。
※ただし、この痛みが強くなったからと言って、治療効果に差はありません。
- 関節は細菌に弱いので、関節内へ注射した場合は特に清潔に保つよう心がけてください。

メリット / デメリット

<メリット>

- 損傷した患部の疼痛を和らげる効果が期待できます。
- 損傷した組織を修復する効果が期待できます。
- 効果の持続期間は 6 ～ 12 か月程と長く見込めます。
- 患者さん自身の血液を用いるため、アレルギーなどの副作用が少ないです。
- 入院の必要はなく、外来通院のみで PRP 療法を受けることができます。

<デメリット>

- PRP の注入部位に痛みや腫れなどの症状が出現する可能性があります。
- PRP は患者さん自身の血液から作製するため、患者さんごとに品質や効果がばらつく可能性があります。

費用（保険適応外）

再生医療の一つである PRP 療法は、安全性が確立され、効果は立証されているものの、日本ではまだ保険診療として認められていません。そのため、現時点では自費診療となり、費用は数万円～数十万円まで医療機関によって様々です。

保存療法で症状改善が見られなかった方や、手術を勧められたけれど迷っている方などに PRP 療法を受けていただきやすいよう、当院では下記価格に設定しております。

どうぞご検討ください。

PRP 療法	1 回（1 部位）	55,000 円（税込）
--------	-----------	--------------

- ※ 本治療はすべて自費診療であり、健康保険を使用することはできません。
- ※ 上記の費用は、治療に伴う診察、PRP 作製のための採血にかかる費用、PRP 作製費用、注入にかかる費用の総額となります。
- ※ 左右両側に投与する場合は、2 回分の費用となります。